

事例 1 1：既設鉄筋コンクリート柱を撤去中、コンクリート片が作業員に落下、その衝撃で転落

施工

土木・建設工事

墜落・転落

その衝撃で転落

既設鉄筋コンクリート柱を撤去のため切断し、ワイヤーで柱をつり上げ始めた際、ワイヤーが鉄筋に付着していたコンクリート片（10cm×30cm程度）をこすりつけ落下、作業員の前頭部（ヘルメット着用）に直撃した。その衝撃で作業員は足場から転落した。

原因

- ・足場に手すりがなく、墜落制止用器具も不使用
- ・剥離の可能性があるコンクリート片を撤去していなかった。

行動

- ・コンクリート片を落とすことなく、そのままワイヤーを柱に張りつり上げた。

結果：負傷

- ・けい髄損傷（むちうち症）

教訓

足場と手すりを設置し、墜落制止用器具も必ず使用する。
つり上げ作業前に、浮き上がったコンクリート片を落としておく。

